

令和7年度
札幌市民交流プラザ
事業報告書

公益財団法人 札幌市芸術文化財団

目 次

I	管 理 業 務 の 実 施 状 況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	管 理 業 務 に 係 る 収 支 決 算・・・・・・・・・・・・	28
III	管理に関する協定書 第34条に規定する自主事業の実施状況・・	30

I 管 理 業 務 の 実 施 状 況

1 統括管理業務

▽ 管理運営に係る基本方針の策定

- ▼ 「文化芸術活動及び生涯学習の振興並びに人々の来訪及び交流の促進を図り、もって市民の創造性を育むとともに、市民生活の向上を実現するほか、地域のにぎわいの創出に寄与する」というプラザの設置目的に基づき、以下の5つの基本方針を策定した。財団統一で策定した中期経営計画に基づき、当財団だからこそ実現可能な主催事業や当財団が管理運営を行う他施設との連携事業などを通じて、市民の多様なニーズを捉えたオリジナリティに溢れた施設運営に取り組んだ。

- ①札幌の文化芸術の創造、発信及び良質かつ多様な文化芸術の提供
- ②複合施設の特徴を最大限に発揮し、人々の交流促進や、にぎわいを創出
- ③現在そして未来の札幌の文化芸術を担い、支える人々の支援・育成
- ④他施設・他団体・他分野との相乗効果を発揮し、札幌のさらなる魅力を発信
- ⑤人々に愛される利用者目線の施設運営

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

- ▼ 札幌市の公の施設であることに鑑み、公平性を重視した運営を行うため以下の方針を策定し、実施した。

①公開抽選による施設申込

利用月 13 か月前の一斉受付による申込受付

②随時予約による施設申込

一斉受付終了後、空き施設を先着順で受付

③優先受付による施設申込

長期の準備が必要かつ大規模な事業に限り、24 か月前からの受付

- ▼ 特定団体の占有を防止し、多くの利用者への平等な利用を実現するため、連続利用を原則 7 日以内に制限している。

- ▼ 接客・接遇に関する OJT など、不当な差別的行為が発生しない体制づくりに取り組んだ。

- ▼ 筆談具やコミュニケーション支援ボード、貸出用車椅子などを設置し、障がいのある方が利用しやすい環境整備を行った。公式ホームページにおいては、外国語ページを設けることにより、外国人の方にも利用しやすい情報の提供を行っている。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼ 「札幌市環境基本計画」に順じ、環境保護、コストの縮減、職員への環境意識の徹底に努めた。

具体的には、まず照明に関して、設備員との打合せを密にし施設貸出時間外の点灯を必要最小限に抑え、全館の照明スケジュールも定期的に見直すことで徹底的に節電に努めた。

また、主要施設である劇場の空調については、令和6年度より全換気運転をインバーター運転に切換え効率化を図り、令和7年度は全空調機の温度設定を見直したことで、省エネルギー化と光熱費の削減を図った。

- ▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、エネルギー等の使用実績を集計し、省エネルギーの推進に取り組んだ。
- ▼ 「さっぽろ創世スクエア」にて熱供給としては北海道初となるカーボンオフセットにより電力・熱由来のCO2排出量を実質ゼロ化する取り組みが令和6年7月1日より行われており、組合員として協力を継続している。

▽ 管理運営組織の確立

(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

【責任者の配置、組織整備】

- ▼ 市民交流プラザ事業部長(館長)を施設の統括責任者として配置した。
- ▼ 職務内容に応じて正職員、契約職員、パート職員などを適正に配置するとともに、清掃、警備、設備などの維持管理委託業者を配置し、実効性の高い重層的な管理体制を構築した。
- ▼ 職員の事務分掌を作成し、業務分担を明確化した。

【従事者の確保・配置】

- ▼ 各課で行う事業特性や業務量を考慮し、適切な人員配置を行い、安定的に運営した。

【人材育成】

- ▼ 基礎的・専門的知識の向上のため、以下の職員研修を実施した。
 - ・ 4月 異動職員向け市民交流プラザ事業部概要説明会・施設見学会
 - ・ 4～5月 新採用研修、コンプライアンス研修
 - ・ 7～9月 情報セキュリティポリシー研修
 - ・ 11月 普通救命講習
 - ・ 12月 管理職マネジメント研修
 - ・ 2月 コンプライアンス研修
 - ・ 2～3月 カスタマーハラスメント対策研修
 - ・ 3月 防災訓練

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ 事業部連絡会議、各課全体会議、課長会議、係長会議などを定期的に開催し、施設運営上の課題解決に向けて検討・協議を行い、事業部全体の業務水準の維持向上に努めた。
- ▼ 財団管理の各施設をネットワークで結び、共用のグループウェアソフトを活用することで、迅速かつ効率的な情報共有・意思疎通を図っている。
また、財団共用の財務・会計システム利用により、予算執行状況の把握・各種伝票の起票を効率的に行っている。併せて、施設予約システムについても、令和7年度は財団4施設において更新・統一を行い、利用者の利便性向上を図った。
- ▼ 事業部内では職員だけではなく、清掃・警備・設備・舞台技術等の常駐委託業者とも上記グループウェアソフトを活用し、情報共有・連絡伝達を行っている。情報共有の媒体を一元化することで、利用者・来館者への迅速かつ正確な対応に繋げている。
- ▼ 各常駐委託業者と月例会議（CS 会議）を行うほか、日常的に綿密な連絡体制を敷くことで、業務中に発生した問題等は速やかに報告を受け、対処を行った。
- ▼ ウェブアクセシビリティへの対応に留意し、JISX8341-3:2016 の適合レベル AA 準拠を維持した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理

（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

- ▼ 業務仕様書に基づき、安全な施設運営を行うために必要な専門性を有する人材の確保、及び適正な業務履行の徹底を要請した。
委託者側、受託者側双方に責任者を置き、常に業務の実施状況を共有したほか、受託者より提出を受けた業務完了報告書による履行確認を行った。
- ▼ 清掃、警備、設備など施設の維持管理業務や法定に基づく各種点検業務などを第三者に委託した。
- ▼ 館内にチケットセンターを設置し、当財団の主催公演や貸館利用者が開催する公演チケットの他、市内の文化施設で開催される公演チケットについて効果的で効率的に販売するため、市内業者に業務委託した。
- ▼ 広報誌「wave times+」を作成し、主催事業の紹介や公演・イベントのスケジュール、チケット販売状況などを発信している。校正等は委託業者と密に連携を取り、品質の維持・向上に努めた。
- ▼ 札幌文化芸術劇場は高度な舞台機構や音響・照明設備を備えていることから、それらの舞台設備を活用するため、高い専門性を持った舞台技術スタッフを配置するとともに、業務の一部を委託し、委託者と連携を図りながら業務を行った。

- ▼ 主催公演における劇場案内及びエスカレーター安全誘導、貸館公演におけるエスカレーター安全誘導及び劇場案内補助について、業務を効果的かつ合理的に実施するため、一括して専門的な知識または経験を有する専門事業者に委託した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回 (6月16日)	・令和6年度事業報告 ・令和6年度施設の利用状況報告 ・令和6年度アンケート集計結果報告
第2回 (9月16日)	・事業報告（4～8月） ・施設の利用状況報告（4～8月） ・アンケート集計結果報告（4～8月）
第3回 (12月18日)	・事業報告（9～11月） ・施設の利用状況報告（4～11月） ・アンケート集計結果報告（4～11月）
第4回 (3月9日)	・事業報告（12～3月） ・施設の利用状況報告（4～2月） ・アンケート集計結果報告（4～2月）
<協議会メンバー> ・地元自治会： 中央地区町内会連合会副会長 ・利用者： 音楽イベント企画会社代表 ・有識者： 大学教授 ・行政： 札幌市市民文化局文化部長、 札幌市教育委員会 図書・情報館長 ・指定管理者： 市民交流プラザ館長	

▼ 政策推進連絡会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 (8月7日)	(1) 各施設の重点取組事項について (2) 議題 ①令和8年度予算要求に向けて ②出資団体評価について ③委託費補填の次年度以降の予算について 当財団における委託費補填の取扱と次年度以降について ④50万円以上の修繕・設備投資の取扱について 当財団の修繕・設備投資の規模と今後の財団収支の影響について (3) その他意見交換
第2回 (1月29日)	(1) 令和8年度 市民交流プラザ関係予算の概要について (2) 市民交流プラザにおける令和7年度の予算執行見込みと事業実施状況 (3) 市民交流プラザにおける令和8年度の予算と事業実施予定 (4) その他

▼ 札幌市関係部局及び利用者団体との連携、札幌市関係部局及び利用者団体や地域団体、住民などとの良好な連携体制を構築した。

①文化団体

- ・新国立劇場、東京バレエ団等、国内外トップクラスのバレエ公演等を実施した。
- ・北海道文化財団との共催事業として贅沢貧乏の演劇公演を開催した。

②教育機関連携

- ・札幌大谷大学と連携し、主催事業の見どころ、聴きどころを解説するイベントを実施した。
- ・札幌大谷大学、北海道教育大学岩見沢校と連携し、在学生によるコンサートを実施した。
- ・北海道大学と連携し、札幌市立高校の生徒を対象とした特別プログラムを実施した。
- ・札幌市立高校と連携し、プレゼンテーション大会を実施した。

③北海道テレビ放送株式会社（HTB）

・ hitaru オペラプロジェクト、バレエプロジェクトにおいて HTB の配信プラットフォームを活用し有料アーカイブ配信を実施した。

④創成おさんぽ MAP

・ 株式会社えんれいしゃと連携し、市民交流プラザ周辺地域の回遊及び活性化を目的に、近隣の飲食店、ホテル等 85 店舗と連携し、割引等のメンバーズ会員対象特典の提供を受け、創成おさんぽ MAP として配布した。

⑤札幌大通まちづくり株式会社

・ 広告協賛として、札幌大通まちづくり会社から西 2 丁目地下歩行空間の壁面広告枠の提供を受け、オフィシャルスポンサー制度や主催・共催事業についての広告を展開した。

▽ 要望・苦情対応

▼ 要望・苦情は発生次第速やかに対応を検討し、担当する部署及び館長とも共有したうえで、対応を行った。

利用者・来館者から寄せられた要望・苦情については、関係する常駐委託業者とも情報共有を行い、利用サービスの向上に繋げた。

また、貸館諸室の場所が分かりづらいと声をいただくことが多いため、案内表示を増やすことで場所を明確化し、利用者・来館者の利便性向上に努めた。

▼ ホームページにお問い合わせフォームを設け、問い合わせや要望・苦情が寄せられた際には、札幌市図書・情報館やその他の関係部署を交え対応を検討し、電子メール等で迅速な回答を行うとともに、今後の利用サービスの向上に繋げた。

▼ 市の関わりが必要と考えられる要望・苦情については迅速に市に報告した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価

（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。

- ・ 管理業務に関する諸規定
- ・ 文書管理簿
- ・ 年度の事業計画及び事業報告書
- ・ 収支予算・決算に関する帳簿
- ・ 金銭出納に関する帳簿
- ・ 物品の受払いに関する帳簿
- ・ 各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類

▼ セルフモニタリングについては、来館者、利用者、主催事業の参加者の満足度を測定するため、アンケート調査を実施した。また、半年ごとに業務検査や財務検査を行い、業務に関する自己チェックを実施した。

▼ 札幌市への事業報告や事業評価等については、協定の定めに応じて提出をした。

2 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)

▼ 適正な内容で36協定を締結したほか、雇用環境の維持向上のため、関係法令に基づき財団諸規則等の見直しを行い、労働基準監督署に届け出た。

▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。

▼ 就業規則を含む例規集は、グループウェアにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。

▼ 定期的に開催する役職者会議で職員の超過勤務時間を確認するとともに、適正な時間外勤務の執行に取り組み、職員の健康管理の増進及び仕事と家庭の調和の実現（ワークライフバランスの推進）に努めた。

また、札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業（ステップ3）として認証を受けているほか、4年計画で策定した次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画（3年計画）を現在遂行中である。

▼ 毎月の給与の計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務部署を通じて社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。

▼ 当財団衛生委員会要綱に準じ衛生委員会を開催し、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職員の健康維持、職場環境の向上に努めている。

▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の事柄も含めた個別相談に応じる体制を採っている。また、各種相談窓口の設置を通じて、働きやすい職場づくりに努めている。

▼ 改正労働安全衛生法に基づき、職員の心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）及びその結果に基づく医師の面接指導を実施している。職員自身のストレスの程度を把握し、ストレスへの気づきを促すとともに、高ストレス状態にある職員が医師の面接指導を受け、必要な範囲で就業上の措置を講じることで、メンタルヘルス不調を未然に防止することに努めている。

▼ 労働環境を向上させるため、年5日以上有給休暇の取得徹底や、業務の見直しなどによる時間外勤務の削減に努めた。

- ▼ 高齢者等雇用の安定等に関する法律に基づき、定年（61 歳）退職後に、希望者を 65 歳まで継続雇用し、高齢者の雇用を促進した。
- ▼ 障がい者の雇用の促進等に関する法律に基づき、障がい者の雇用促進に積極的に取り組むとともに、当該雇用の実現に向けて、雇用支援機構と協議をした。

3 施設・設備等の維持管理業務

▽ 総括的事項

（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）

- ▼ 拾得物及び遺失物は、さっぽろ創世スクエア管理組合と情報共有を図り、利用者からの問い合わせに対して即時に対応できるよう努めている。なお、一定の保管期間が経過し、引き取りのない拾得物や、貴重品については最寄りの警察署または交番に引き渡し、適切な処理に努めている。
- ▼ 施設の環境の改善と安全性向上のため、定期的な巡回や点検を行っている。特に、施設内の共用スペースにおいては多数の来館者が往来するため、防犯カメラを設置・運用することで、非常時に的確・迅速な対応ができるよう備えている。
- ▼ 財団 4 施設において新施設予約システムの導入を行い、利用者が 1 つのアカウントで財団が指定管理する他施設の予約もできるようになった。
- ▼ 緊急時の連絡体制を構築するとともに、指定管理の仕様書に記載されている内容の保険には、継続して加入している。
- ▼ 札幌文化芸術劇場の高度な舞台機構や音響・照明設備を、高い専門性を持った舞台技術スタッフを配置することにより、劇場の特性を最大限に活かした公演の運営・提供に努めた。
- ▼ 劇場公演における劇場案内及びエスカレーター的安全誘導を一括して専門的な知識または経験を有する専門事業者に委託し、利用者が安心して観劇できるよう努め、満足度向上に繋げた。
- ▼ 施設賠償責任保険（施設所有（管理）者賠償責任保険及び昇降機危険補償、マネー包括保険、受託者賠償責任保険、自動車管理者賠償責任保険）・施設災害補償保険に加入し、利用者及び職員への適切な補償体制を整備した。
 また、施設賠償責任保険における賠償額は、対人・対物とも仕様書に示す基準補償額としている。
 対人補償：10 億円（1 人 5 千万円）
 対物補償：2 千万円

▽ 施設・設備等の維持管理

(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

- ▼ プラザ内の各施設（劇場、センター、諸貸室）において、計画的な清掃・警備を行い、美化・安全確保に努めた。また、備付備品や貸出備品についても、定期的に点検を行い、常に利用者が最良の状態で使用できるよう維持・管理を行った。
- ▼ 施設設備については、日常点検をはじめ、不具合が発生した際は早期発見・対応が可能なように設備保守の常駐委託事業者と密に連携を図った。
- ▼ 施設などの修繕については、利用者に支障が生じないよう緊急度や破損の状況を考慮し、必要な初期対応を講じたうえで、職員または専門業者にて修繕を行い実施した。なお、緊急度が高いものについては札幌市に報告し、随時打合せを行いながら、損傷を最小限に抑えるよう努めた。
- ▼ 備品管理については、日常・定期点検、専門業者による保守点検、清掃などを実施し、異常を早期発見するとともに、適正な管理を実施した。
- ▼ 施設への搬出入用駐車場については、運用マニュアルを作成して管理運営を行い、警備員との連絡を密にして駐車場の利用者が安全、かつ円滑に駐車できるように努めた。なお、共用部（緑化等）はさっぽろ創世スクエアの管理組合が適切に管理している。

▽ 防災

- ▼ 令和7年10月に「避難訓練コンサート」を開催し、実際に来場者を動員し、災害発生時の行動について、より具体性を持たせた避難経路や誘導についての訓練を行った。また同年度の3月には避難訓練コンサートで得られた避難経路や消火設備の自主反復研修を行い、防災に関する基本的な知識の再確認を行った。
- ▼ 札幌市民交流プラザ危機管理規程に基づき、危機管理マニュアルを策定している。危機が発生した場合の行動及び責任者等を定めることで、一般利用者及び勤務する職員、あるいは当該施設等に重大な被害が及ぶ恐れがある様々な危機を想定し、事象が発生した場合における被害及び混乱を最小限に食い止め、来館者、職員及び施設の安全を確保することを目的としている。また、安全品質向上のため日々見直し改訂している。なお、令和8年1月には札幌市からの要請を受け一時滞在施設を開設した。

4 事業の計画・実施業務

▽ 札幌文化芸術劇場に関する事業

令和5年3月末、文化庁が実施する助成金「舞台芸術等総合支援事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援）」に当館の提案した「次世代創造型劇場による魅力的地域文化推進事業」が選ばれ、開館から5年目にして北海道から初めての採択となった（全国の主要な国公立文化施設2,140館のうち本事業に採択されたのは12施設のみ）。

令和7年度は、5年間の事業計画3年目として、過去2年間同様に着実に事業の成果を挙げることができた。

▼創造事業

hitaruを「創造の場」として地元で活躍する様々な芸術団体との連携のもと札幌発の実演芸術公演を展開し、質の高い芸術文化に触れる機会を市民に提供した。令和7年度は、地元のバレエ団体、実演芸術家などの協力を得てhitaruを舞台としたバレエを創造・発信する「hitaru バレエプロジェクト」として、2023年に初演し、好評を博した「くるみ割り人形」を再演した。また、「くるみ割り人形（全幕）」見どころを凝縮し、初めてバレエを鑑賞される方にも楽しめる特別バージョンとして、「hitaru のひととき My First Ballet～くるみ割り人形～」も合わせて上演した。

また、hitaru オペラプロジェクトでは、若手歌手を対象に、オペラにおける身体表現の技術と理解を深める「若手歌手のための身体表現研修」を実施した。さらに、地元アーティストとともにセルフプロデュースする創造事業「hitaru creation」の新たな取り組みとして、イマーシブ（没入）をテーマとした体験型ダンス公演「IMMERSIVE ART MIX 身体展覧会」を開催した。

○ hitaru バレエプロジェクト 「くるみ割り人形」（全幕）

期日：令和8年2月28日（土）、3月1日（日）

総入場者数：3,635人

○ hitaru のひととき My First Ballet～くるみ割り人形～

期日：令和8年3月1日（日）

入場者数：1,515人

《関連事業》

・パリ・オペラ座バレエ団ジル・イゾアール氏の公開トーク ～男性ダンサーとダンス教育の現在～

期日：令和7年8月12日（火）

参加者数：50人

・バレエのための音楽講座

期日：令和7年9月6日（土）、7日（日）

受講者数：12人、総聴講者150人

・「くるみ割り人形」特別フェア

期日：令和7年12月19日（金）～12月23日（火）

入場者数：300人

- ・バックステージツアー

期日：令和8年3月1日（日）

参加者数：30人

《配信事業》

- ・【有料アーカイブ配信】hitaruのひととき My First Ballet

～くるみ割り人形～

期日：令和8年3月20日（金・祝）～5月31日（日）

視聴回数：72回（3月31日時点）

○ 若手歌手のための身体表現研修

期日：令和7年11月9日（日）、10日（月）

受講者数13人、聴講者数20人

○ IMMERSIVE ART MIX 身体展覧会

期日：令和8年3月14日（土）、15日（日）

総入場者数112人

▼ 鑑賞事業

多面舞台と最新の舞台機構を生かし、世界水準のバレエ、ダンスなど本格的な舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で市民に提供した。また、親しみやすい内容の公演を低廉な入場料で開催し、幅広い層の市民に実演芸術の魅力を伝えた。

○ 大駱駝艦・天賦典式「クレイジーキャメル」

期日：令和7年9月14日（日）

入場者数：708人

《関連事業》

- ・大駱駝艦 大ポスター展

期日：令和7年5月31日（土）～6月16日（月）

入場者数：7,450人

- ・上演記念プレトーク「大駱駝艦 天賦典式について」

期日：令和7年8月31日（日）

参加者数：55人

- ・磨赤児の舞踏ワークショップ

期日：令和7年9月11日（木）

参加者数：31人

○ 東京バレエ団 hitaru Special Gala

期日：令和7年9月26日（金）

入場者数：1,639人

《関連事業》

〈連携事業〉札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業

アートプログラム 2025「ドン・キホーテ」「ボレロ」見どころ・聴きどころ

期日：令和7年8月29日（金）

入場者数：72人

○ プラザフェスティバル 2025 新国立劇場バレエ団「シンデレラ」

期日：令和7年10月4日（土）、5日（日）

総入場者数：2,817人

○ ゆうめい「養生」

期日：令和7年12月6日（土）、7日（日）

総入場者数：320人

《関連事業》

・スペシャルトーク 池田亮（ゆうめい代表）×山田由梨（贅沢貧乏主催）

期日：令和7年9月23日（火・祝）

入場者数：54人

・hitaru 劇評入門 「観る」「語る」「書く」で深める演劇体験

期日：令和7年11月30日（日）、12月7日（日）、12月8日（月）

参加者数：63人

・ゆうめい10周年記念展示『まわるしかく』

期日：令和7年12月4日（木）～7日（日）

入場者数：208人

○贅沢貧乏「わかろうとはおもっているけど」

期日：令和7年12月13日（土）、14日（日）

入場者数：293人

○hitaru のひととき

・小林沙羅×大西宇宙 華麗なるオペラ名曲コンサート

期日：令和7年6月22日（日）

総入場者数：572人

《関連事業》

・小林沙羅×大西宇宙によるトークイベント&公開レッスン

期日：令和7年6月21日（土）

参加者数：58人

・Sound of Japan Fes ～A BRAND NEW MINYO～

期日：令和7年7月27日（日）

入場者数：855人

《関連事業》

- ・『ブリング・ミンヨー・バック！』トークセッション付き映画上映会

期日：令和7年7月18日（金）

入場者数：58人

- ・MINYO ワークショップ

期日：令和7年7月26日（土）

参加者数：41人

- ・hitaruのひととき My First Ballet～くるみ割り人形～（再掲）

▼ 共催事業の誘致

これまで札幌での開催が少なかった魅力ある大規模公演等の誘致に向けた取り組みを進めた。

令和元年度開催同様に全公演完売したミュージカル「レ・ミゼラブル」の再演（12公演）、開館より継続して開催しているさっぽろ落語まつりの第六回公演、30年以上にわたり世界各国で上演されている人気ミュージカル「エリザベート」の北海道初上演（13公演）、1997年にスタートした歴史ある「HTB ジルベスターコンサート」の第28回公演を共催した。

①ミュージカル「レ・ミゼラブル」

期日：令和7年5月25日（日）～6月2日（月）

総入場者数：25,103人

②第六回さっぽろ落語まつり

期日：令和7年6月6日（金）～8日（日）

総入場者数：8,120人

③ミュージカル「エリザベート」

期日：令和7年12月9日（火）～18日（木）

総入場者数：26,279人

④2025 HTB ジルベスターコンサート

期日：令和7年12月31日（水）

総入場者数：1,220人

▼ 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化の提供と、教育的価値の高い事業を展開した。

○ hitaru ダンスワークショップ for Lifetime

期日：令和7年7月12日（土）・13日（日）

総参加者数：115人

〈連携事業〉札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業

アートプログラム2025「ドン・キホーテ」「ボレロ」見どころ・聴きどころ
（再掲）

○ My First Ballet 中学生向け鑑賞事業・配信事業

鑑賞事業

期日：令和7年9月26日（金）

入場者数：1,867人（札幌市内中学校21校）

配信事業

期日：令和8年2月3日（火）～16日（月）

視聴人数：483人（札幌市内中学校8校）

○ 避難訓練コンサート

期日：令和7年10月22日（水）

参加者数：889人

▼ 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センターSCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能な市民交流プラザの特性を活かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を実施した。

○ BODY&SOUL Kids★Party ～がおがお！音獣ますかれーどの巻～

期日：令和7年8月6日（水）・7日（木）

総参加者数：222人

○ プラザフェスティバル2025 新国立劇場バレエ団「シンデレラ」（再掲）

▼ 舞台技術向上に向けた取組

全道の創造型劇場の中核として、市内道内の舞台技術者の技術・技能の向上や知識・経験の共有を図るため、道内公共ホールや舞台技術業者、舞台系専門学校等に広く参加を呼びかけ、「第6回 hitaru 舞台技術セミナー」を開催した。

○ 第6回 hitaru 舞台技術セミナー「劇場客席の響き」（令和8年1月26日、

27 日／札幌文化芸術劇場)

加えて、将来の舞台技術者の育成をはかる取組として、市内専門学校・大学の学生を対象に、劇場及びクリエイティブスタジオの施設見学会を開催した。

○ 学生向け hitaru 施設見学会 (令和 7 年 4 月 22 日／札幌文化芸術劇場)

また、高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

- ①札幌舞踊会 ジュニアバレエコンサート支部カルチャー発表会 (令和 7 年 6 月 14 日、15 日／札幌市教育文化会館 大ホール)
- ②第 16 回アンジュバレエスタジオ定期発表会 (令和 7 年 7 月 19 日～21 日／帯広市民文化ホール 小ホール)
- ③小林絹恵バレエスタジオ 15 周年記念公演 (令和 7 年 8 月 4 日、5 日／札幌市教育文化会館 大ホール)
- ④YASU バレエスタジオ 高田美穂バレエスタジオ Anniversary Stage 2025 (令和 7 年 9 月 6 日、7 日／砂川市地域交流センターゆう 大ホール)
- ⑤2025 北海道現代舞踊フェスティバル in さっぽろ (令和 7 年 9 月 12 日、13 日／札幌市生涯学習センター ちえりあホール)
- ⑥第 41 回 全道バレエフェスティバル・イン・サッポロ (令和 7 年 9 月 26 日～28 日／札幌市教育文化会館 大ホール)
- ⑦FAREWELL2025 くるみ割り人形全幕 (令和 7 年 12 月 15 日～17 日／札幌市教育文化会館 大ホール)
- ⑧第 66 回 子ども舞踊祭 (令和 8 年 3 月 26 日、27 日／札幌市教育文化会館 大ホール) ”

▽ 札幌文化芸術交流センターに関する事業

▼ 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会の創出を通して、都心部ににぎわいを生み出す事業を展開した。

また、地元アーティストや他分野との連携などにより、札幌ならではの特徴的な事業を構築し、地域の魅力づくりに寄与するとともに、SCARTS の認知度向上に繋げた。

【SCARTS メディアアーツシリーズ】

SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト

①「時間展望—もっと先の自分へ Part2」

期日：令和 7 年 7 月 31 日 (木)

参加者数：10 人

②高校生対象のワークショップ

- ・北海道札幌啓成高等学校

期日：令和7年6月19日（木）

参加者数：36人

- ・立命館慶祥中学校・高等学校（高等部）

期日：令和8年1月19日（月）、20日（火）、24日（土）

参加者数：620人

③札幌市立高校特別プログラム「あかさかな」

- ・第1回「アーティストの視点① ワークショップ」

期日：令和7年10月26日（日）

参加者数：10人

- ・第2回「現場&研究者の視点」

期日：令和7年11月15日（土）

参加者数：17人

- ・第3回「アーティストの視点② 映画鑑賞＋トーク」

期日：令和7年12月14日（日）

参加者数：35人

- ・第4回「まとめの会」

期日：令和8年2月8日（日）

参加者数：5人

④市原佐都子「肉の上を粘菌は通った」

期日：令和8年1月31日（土）～2月11日（水・祝）

入場者数：3,323人

〈関連プログラム〉

- ・アーティスト×研究者トーク

期日：令和8年1月31日（土）

参加者数：60人

- ・札幌アートコミュニケーターズプレゼンツ

おしゃべりアート

期日：令和8年2月7日（土）、8日（日）

参加者数：52人

⑤市立高校プレゼンテーション大会 2025

期日：令和8年3月8日（日）

参加者数：2,000人

【SCARTS 連携事業】

①大学連携コンサート

- ・北海道教育大学岩見沢校「退廃の烙印をおされた作曲家たち」

期日：令和7年8月19日（火）、20日（水）

入場者数：132人

・札幌大谷大学「舞踊と物語の旅」

期日：令和7年10月25日（土）

入場者数：115人

②NoMaps2025

期日：令和7年9月10日（水）～14日（日）

入場者数：2,397人

③第54回 SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル

ー展示・いけ花・お茶席部門ー

期日：令和7年8月8日（金）～10日（日）

入場者数：2,886人

④第7回こどもアール・ブリュット 北海道みらい作品展

期日：令和7年8月15日（金）～17日（日）

入場者数：711人

⑤さっぽろアートステージ 2025 ART STREET

期日：令和7年11月8日（土）～24日（月・休）

入場者数：5,450人

・UniversityStudentARTCompetition

期日：令和7年11月8日（土）～24日（月・休）

参加者数：3,801人

・キッズアートフェス

期日：令和7年11月8日（土）～24日（月・休）

参加者数：3,060人

〈関連プログラム〉

・大きな壁画を描いてみよう！

期日：令和7年11月8日（土）、9日（日）、
15日（土）、16日（日）

参加者数：53人

・フィルム写真の撮影と現像を楽しもう！

2日連続ワークショップ

期日：令和7年11月8日（土）・9日（日）

令和7年11月15日（土）・16日（日）

参加者数：20人

・画材でないもので創造的な絵を描いてみよう！

期日：令和7年11月8日（土）、9日（日）、
15日（土）、16日（日）

参加者数：40人

⑥能藤玲子創作舞踊団「神の舌―夢の入口」

期日：令和8年1月23日（金）、24日（土）、25日（日）

入場者数：346人

〈関連プログラム〉

- ・【財団内連携】館長と梅村学芸員の日曜講話
―彫刻編―「砂澤ビッキ」

期日：令和7年9月7日（日）

参加者数：40人

- ・【財団内連携】Kitara ギャラリー
「能藤玲子×砂澤ビッキ」

期日：令和7年10月26日（日）～令和8年2月1日（日）

参加者数：791人

- ・アフタートーク

期日：令和8年1月24日（土）

⑦SCARTS×さっぽろ天神山アートスタジオ

「天神山、みたび、まちにいく。」

期日：令和8年2月14日（土）

入場者数：89人

⑧札幌市立大学デザイン学部公開講座「アートにであう」

期日：令和7年6月21日（土）

参加者数：ワークショップ 204人／トーク 56人

⑨札幌市図書・情報館セミナー

- ・FAH_ver. 9― ここで言葉を交換する

期日：令和7年5月10日（土）

入場者数：67人

- ・女性のための起業のヒント

期日：令和7年5月22日（木）

入場者数：48人

- ・札幌市図書・情報館×フェアトレード

⑩北海道連携セミナー「対話から始まる平和と持続可能性」

期日：令和7年6月28日（土）

入場者数：33人

- ・つくる・たべる・つなぐ。～いま、“フードロス”と向き合う～

期日：令和7年7月12日（土）

入場者数：21人

- ・ラジオで寄り添い、ラジオでつながる～三角山放送局の歩む道～

期日：令和7年8月2日（土）

入場者数：29人

- ・「社会貢献」で起業するソーシャルビジネスセミナーinSAPPORO

期日：令和7年8月21日（木）

入場者数：39人

- ・劇団イナダ組×法テラス 法テラス劇場「終活・遺言・詐欺」

期日：令和7年10月11日（土）

入場者数：128人

【SCARTS パブリックリレーションズ】

①西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

- ・西2丁目地下歩道映像上映

期日：令和7年4月1日（火）～8月1日（金）

②プラザフェスティバル 2025

- ・アートセンターミーティング ー地域の活動支援を考えるー

期日：令和7年10月3日（金）

入場者数：57人

- ・MORIHIKO. マルシェ・ドゥ・グルニエ×プラザマルシェ

期日：令和7年10月3日（金）～10月5日（日）

入場者数：130人

- ・推しアニメーションガイド Vol. 2

期日：令和7年10月4日（土）

入場者数：53人

- ・新千歳空港国際アニメーション映画祭 presents

コマ撮りアニメーション制作体験「KOMA KOMA スタジオ」

期日：令和7年10月4日（土）

参加者数：106人

- ・札幌市図書・情報館×SCARTS トークイベント「What Is ZINE？」

期日：令和7年10月5日（日）

入場者数：73人

- ・札幌市図書・情報館×SCARTS おしごとトーク・図書館ツアー

期日：令和7年10月5日（日）

入場者数：26人

- ・【財団内連携】札幌芸術の森クラフトキャラバン「森のアトリエ」

期日：令和7年10月4日（土）、5日（日）

参加者数：69 人

▼ 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

市民やアーティスト等の活動活性化やキャリアアップへの支援として、文化芸術情報を収集・発信できる場を提供するとともに、文化芸術に関する課題や悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座等も開催し、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような環境づくりにつなげた。

【SCARTS サポート事業】

①SCARTS 相談サービス

利用件数：38 件

<内訳（複数相談可）>

発表や活動の場所について：7 件

活動資金について：10 件

助成金について：30 件

公募について：2 件

広報について：3 件

専門人材・団体の紹介：1 件

企画内容のアドバイス：2 件

スキルアップについて：3 件

プラザ貸館について：1 件

その他：11 件

②SCARTS ラーニングプログラム

・推しアニメーションガイド

期日：令和7年5月4日（日・祝）

入場者数：48 人

・おしえて！アートのおしごと【演劇編】

～“演出助手”って知ってる？～

期日：令和7年8月5日（火）

入場者数：29 人

・アートセンターミーティングー地域の活動支援を考えるー（再掲）

・推しアニメーションガイド Vo1. 2（再掲）

・公的支援を利用するために

～文化芸術プロジェクトの“公益性”を考える～

期日：令和7年10月18日（土）

入場者数：37 人

・おしえて！アートのおしごと【舞踊編】

～ダンス公演ってどうやってつくるの？～

期日：令和8年3月21日（土）

入場者数：15人

③【財団内連携】彫美連続講座 2025

- ・戦後80年を迎えて～ 戦時下の日本彫刻

期日：令和7年5月13日（火）

受講者数：75人（会場聴講56人、オンライン聴講19人）

- ・山内壮夫シンポジウム

期日：令和7年8月6日（水）

受講者数：76人（会場聴講59人、オンライン聴講17人）

- ・國松明日香の芸術

期日：令和8年3月21日（土）

受講者数：116人（会場聴講90人、録画オンライン聴講26人）

④公募企画事業

- ・SCARTS 企画公募 2026

募集期間：令和7年7月1日（火）～8月15日（金）

応募件数：28件

採択件数：2件

[令和7年度採択事業]

- ・Sumitto Art 一望月澄人回顧展—

期日：令和7年5月31日（土）～6月8日（日）

入場者数：1,244人

- ・宮本一行 雪面の歩行／アクティブ・サウンドウォーク

期日：令和7年8月28日（木）～9月7日（日）

入場者数：956人

〈関連プログラム〉

- ・ワークショップ アクティブ・サウンドウォーク札幌

期日：令和7年8月28日（木）

参加者数：4人

- ・ギャラリートーク 環境から立ち上がる音響芸術

期日：令和7年9月6日（土）

参加者数：25人

- ・ヴァーチャル展示体験

期日：令和7年8月28日（木）～9月7日（日）

参加者数：153人

- ・石垣絢子個展シリーズ「言葉と音楽」Vol.Ⅷ BOLERO

～書×ヴァイオリン×ピアノ～

期日：令和7年7月20日（日）

入場者数：74人

＜関連プログラム＞

・公開リハーサル

期日：令和7年7月18日（金）、19日（土）

入場者数：42人

・音の建築彫刻 ―交差する Bach とアンビエント―

期日：令和7年12月20日（土）、21日（日）

入場者数：160人

⑤札幌文化芸術交流センター SCARTS

文化芸術振興助成金交付事業

＜令和7年度 文化芸術振興助成金事業活動＞

特別助成事業2件、一般助成事業13件、総額6,680,975円交付

・令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

助成金交付事業 助成金交付決定者説明会・交流会

期日：令和7年4月24日（木）

参加者数：24人

・令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

助成金交付事業 活動報告会

期日：令和8年3月14日（土）

参加者数：30人

＜令和8年度 文化芸術振興助成金事業活動＞

特別助成事業1件、一般助成事業21件、総額700万円交付予定

・令和8年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

助成金交付事業 募集説明会・相談会

期日：令和7年11月14日（金）、15日（土）

参加者数：26人

・令和8年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

助成金交付事業 募集

期日：令和7年12月1日（月）～令和8年1月10日（土）

申請件数：67件（特別助成事業11件、一般助成事業56件）

・令和8年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS

助成金交付事業 審査委員会

期日：令和8年2月20日（金）

▽ 補助金交付の対象となる自主事業の実施に関する業務

▼hitaru オペラ・バレエプロジェクト

○ hitaru バレエプロジェクト 「くるみ割り人形」 (全幕)

(再掲)

▼札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

(再掲)

<令和7年度>

特別助成事業2件、一般助成事業13件、総額6,680,975円交付

- ・令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS
助成金交付事業 助成金交付決定者説明会・交流会
- ・令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS
助成金交付事業 活動報告会

<令和8年度予定>

特別助成事業1件、一般助成事業21件、総額700万円交付予定

- ・令和8年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS
助成金交付事業 募集説明会・相談会
- ・令和8年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS
助成金交付事業 募集
- ・令和8年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS
助成金交付事業 審査委員会

5 施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R6 年度 実績	R7 年度 実績	前年比
劇場	件数(件)	265	276	104.2%
	人数(人)	338,788	384,953	113.6%
	稼働率(%)	85.1%	88.7%	104.2%
クリエイティブ スタジオ	件数(件)	345	338	98.0%
	人数(人)	44,122	37,510	85.0%
	稼働率(%)	91.2%	91.9%	100.8%
練習室 等	件数(件)	5,621	4,411	78.5%
	人数(人)	55,088	61,087	110.9%
	稼働率(%)	87.8%	91.4%	104.1%
センタ ー	件数(件)	3,125	3,125	100.0%
	人数(人)	233,750	163,365	69.9%

	稼働率(%)	94.0%	85.6%	91.1%
総来館者数(人)		1,561,125	1,536,587	98.4%

▽ 不承認 0 件、 取消し 51 件、 減免 2,613 件、 還付 81 件

▽ 利用促進の取組

▼ 一斉受付実施の告知

ホームページにて、次回の一斉受付の告知を毎月行った。

▼ 利用者からのご要望の改善

利用者アンケートに基づき、利用者からのご要望のあった点を共有するとともに、改善に向けて検討を行った。

▼ 11 月より新施設予約システムを導入し、札幌芸術の森・コンサートホール・札幌市民交流プラザの空き情報が確認可能となり、施設を横断的に確認できるようになった。また、利用者自身が申請状況を「マイページ」で確認可能となった。

▼ 利用者登録制度の導入

定例的、継続的な諸室利用者がよりスムーズな申請手続きを行えるよう、利用者登録制度を導入し、登録者は申請から施設利用料の支払までを同時に行っている。

▼ 館内に 20 以上ある各施設について、HP で利用方法の案内図面や申請書のダウンロード、空き状況の確認を行えるようにしている。

6 付随業務

▽ 広報業務

▼ 広報

①情報誌作成と事業広報との連携強化

公演・イベントの周知、チケット販売促進や、施設入館者数の目標達成を目指し、広報誌等の印刷物やホームページ、SNS 等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

(ア) イベント情報誌「wave times+」

イベント情報誌「wave times+」は年 6 回発行し、区役所等の市内公共施設や関係

団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。より広くの層に読んでいただけるよう、冊子版に加えてWEB マガジン版も公開した。また、財団内連携を強化することを目的とし、札幌市芸術文化財団が指定管理を行う6施設の内、市民交流プラザ以外の施設での事業を紹介した。

(イ) 地下鉄パンフレット広告

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーにて、広報誌「wave times+」を配架した。

(ウ) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛枠等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やチラシの配架、ポスター広告の掲示等を行った。また、市民交流プラザの認知度、並びにアクセスについての情報を広く周知するため、15 秒の広告動画をさっぽろ地下街の「AUMIRU ビジョン」「HILOSHI ビジョン」の2ヵ所で上映した。

② ホームページ、SNS などを活用した広報

ホームページを通じて、主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く札幌市民交流プラザの周知を図るとともに、英語・中国語（簡体字、繁体字）・韓国語に対応した翻訳ツールを導入し、外国人向けに情報発信を行った。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016 の適合レベル AA 準拠を維持した。

また、X、Facebook、Instagram といった SNS も活用し、即時性のある情報を発信した。

- ・公式ホームページアクセス数 令和7年度:1,719,890 件
(参考) 令和6年度 1,622,751 件
- ・札幌市民交流プラザメンバーズホームページアクセス数令和7年度:163,409 件
(参考) 令和6年度:130,527 件

③ 来場者向け利用案内情報の発信

札幌市街から札幌文化芸術劇場に来場する人に向け、札幌市民交流プラザまでのアクセスやプラザ館内の利用方法などをまとめた案内を公式ホームページ上に掲載した。加えて、SNS では観光分野連携の取り組みの一環として、札幌市民交流プラザと併せて巡ることができる札幌の観光スポットを紹介した。

④ メディア対応とプレスリリース

市民交流プラザについての取材依頼、パブリシティ掲載などに対応し、市民交流プラザの認知度を高めるとともに、市民交流プラザ全体で行われる事業や共催事業などのプレスリリースを行い、周知やチケット販売促進につなげた。

⑤その他の広報制作物

(ア) 「創成おさんぽ MAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、札幌市民交流プラザメンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子を作成し、メンバーズ（DM 会員）に送付したほか、協力店舗や札幌市民交流プラザ館内各所で配架した。また、利用促進のため、秋には SNS を活用した「#創成おさんぽ MAP キャンペーン」を実施した。

(イ) 「ホテルグルメ特集」

「創成おさんぽ MAP」に掲載のホテルについて、メンバーズ会員証の提示で受けられる特典をまとめた「ホテルグルメ特集」を年 3 回発行し、メンバーズ（DM 会員）への送付や、館内各所に配架したほか、メンバーズ（WEB 会員）にはピックアップ情報として定期的にメールマガジンにて発信した。

▼利用促進

①施設利用に関する営業

札幌文化芸術劇場 hitaru 及び札幌文化芸術交流センター SCARTS 諸室の貸館利用促進に向け、ホームページで施設の空き状況などの施設利用に関する情報を提供したほか、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致により、新たな客層の獲得を促進した。

②会員制度

(ア) 会員制度の募集及び運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営。令和 8 年 3 月 31 日までに WEB 会員 59,953 人、DM 会員 348 人、計 60,301 人の会員を集めた。

（参考）令和 6 年度：WEB 会員 53,536 人、DM 会員 582 人、計 54,118 人

(イ) 会員特典

- ・メールマガジン配信（WEB 会員向け、原則 1 ヶ月に 2 回）
- ・ダイレクトメール送付（DM 会員向け、原則奇数月）
- ・hitaru 主催公演のチケット先行発売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待
- ・会員向けイベントへの参加

③協賛制度の募集及び運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

令和 7 年度のスポンサーとして、法人 102 社、個人 46 人、計 148 件（8,766 万円及び広告枠 2,830 万円相当）の協賛を獲得した。

2 自主事業その他

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

▼ 市内企業等の活用

施設の管理運営に必要な再委託業務について、概ね札幌市内に事業所を有する企業に発注した。

▼ 福祉施策への配慮

主催事業に係るチラシの封入作業を市内の福祉施設に発注したことに加え、設置している自動販売機のうち1台を、市内の社会福祉団体に依頼した。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	施設を利用する主催者および主催事業の来場者へアンケート用紙を配布するほか、館内にアンケート台を設置。施設・設備の使い勝手の良さや、職員対応等に対する意見・要望の把握に努めた。
結果概要	貸館利用者・主催事業の来場者の施設に対する総合的な満足度は92.9%、職員対応の満足度は96.4%であった(「満足」「おおむね満足」「普通」合計)。 また、貸館利用者の95.9%が「また利用したい」と回答した。 全体回答数：8,761件
利用者からの意見・要望とその対応	・ミーティングルームの椅子が重い →軽いスタッキングチェアに変更 ・SCARTS スタジオのワイヤーレールの量をもう少し増やしてほしい →10本から20本に追加 ・大変お世話になりありがとうございました。きめ細やかに対応いただき、感謝しております。

Ⅱ 管理業務に係る収支決算

▽ 収支

(千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	1,556,452	1,558,445	1,993
指定管理業務収入	1,491,900	1,473,326	▲ 18,574
指定管理費	1,034,364	1,055,106	20,742
利用料金	244,504	235,367	▲ 9,137
その他	213,032	182,853	▲ 30,179
自主事業収入	64,552	85,119	20,567
支出	1,586,452	1,544,412	▲ 42,040
指定管理業務支出	1,501,000	1,445,720	▲ 55,280
自主事業支出	85,452	74,986	▲ 10,466
経常外支出	0	23,706	23,706
収入-支出	▲ 30,000	14,033	44,033
利益還元			0
法人税等			0
純利益	-30,000	14,033	44,033

▽ 説明

▼ 収入について

①指定管理費について

光熱費及び利用改定に伴う減額の補填のほか、一時滞在施設運営に伴う経費収入により増収となった。

②利用料金収入について

劇場を中心とする各施設の利用収入は計画をやや上回ったが、クリエイティブスタジオなどの一部施設において、主催事業利用などにより貸館収入が減少した。

③その他・自主事業収入について

主催事業の入場料収入や国庫助成金収入の減などにより一部減収となった。

▼ 指定管理業務支出について

昨年度に引き続き給与改定等による人件費の増加、開館からの年数経過による修繕費の増加があったものの、光熱水費のほか主催事業など各科目で経費削減に努め、当初計画よりも支出を抑えることができた。

▼ 自主事業支出について

経費節減に努めたため、計画よりも支出を抑えることができた。

▼ 経常外支出について

年度中に開館時からの物件料過誤徴収が発覚したため、過年度累積返金額が経常外支出として生じた。

Ⅲ 管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況

1 飲食・物販事業

▽ カフェ、レストラン事業

施設の賑わいの創出とともに寛ぎの空間を提供することを目的に、カフェ「MORIHICO. 藝術劇場」及びレストラン「DAFNE」を営業。また、自動販売機を館内に7台設置している。

▼ レストラン「DAFNE」にて、クリスマスメニューやお節の販売、創世スクエアオフィス棟の企業へのフライヤーポスティング等、利用者のニーズに対応した営業を行った。

▼ 施設と各委託事業者の月例会議(CS 会議)に代表者1名が出席することとし、劇場・クリエイティブスタジオの公演情報(来場見込み等)を事前に共有することで、カフェ・レストランともに無駄のない営業に務めた。